



令和6年度全国学力・学習状況調査 「無解答」という子どもの声に耳を傾ける！

まとめて表現する(書く)
ことが苦手なのかな？

1 無解答率の高かった問題の概要【小学校:国語】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)	無回答率(%)
3三	【物語】を読んで、心に 残ったところとその 理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に 想像したり、表現の効果を考えたり することができるかどうかをみる	65.5%	16.7%

最後の問題まで解く時
間がなかったのかな？

2 無解答率の高かった問題の概要【中学校:数学】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)	無回答率(%)
9(1)	点Cを線分AB上にとり、線分AB について同じ側に正三角形PACとQC Bをつくるとき、AQ=PBであることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考 え、証明すること ができるかどうか をみる	29.0%	35.5%

□無解答の原因

- 能力のみによって左右されるとは限らない。
- 動機付けや自己概念によっても左右される。
- 実際難しいがどうかに加え、難しいと感じるかどうかによっても生じる可能性がある。

引用：上越教育大学 PISA 読解力問題における無解答傾向の分析

□無解答率減少に効果のある指導方法

- 「自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導」
- 「考えを引き出したり思考を深めたりする指導」
- 「適切にノートをとるなど、学習方法に関する指導をしている」等の指導上の取組
- 習熟度別少人数指導の効果

例：低学力層の学習に対する関心・意欲・態度を高める。

低学力層を減らし、高学力層を伸ばす効果がある。

引用：文部科学省

☆学習観の転換を！

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、児童生徒の困り感に丁寧に寄り添った「指導の個別化」と児童生徒一人一人の探究的な学びを展開する「学びの個性化」への取組が大切です。そして、級友や周りの大人と協働して学びの質を向上していくことが、今、求められる教育の在り方です。

教室で、または家庭で声にならない声を上げている子どもたちへの対応として、「教員が知識をどう教えるか」ではなく「子どもたちの学びをどう育てるか」の視点が大切です。